

# 「Review of Polarography」誌 論文投稿規定

## 1 投稿資格

投稿論文の著者(連名の場合は1名以上)は本会の会員でなければならない。ただし、編集委員会の認める場合はこの限りでない。

## 2 投稿論文の種類と内容

投稿論文は、ポーラログラフィー、電気分析化学、解析的電気化学、および関連する分野における科学研究を、和文または英文で記述したもので、総説、一般論文および総合論文とする。

総説(Review Article)は、特定のテーマについて自他の研究者の結果なども含めた広い内容を解説した論文とする。

一般論文(Research Paper)は、他に未発表の内容の原著論文とし、学術的価値、新規性または革新性、明解さ(文法や用語の正しさを含む)等の観点で、2名以上の審査員による本規定の3項に基づいた審査(ピア・レビュー)を経る。

総合論文(Integrated Research Paper)は、著者の未発表の研究成果を含めた総合的な学術原著報告、著者の既発表の研究成果を新しい学術的観点からまとめ直した総合的な学術原著報告、または、正当な引用に基づいて他者の学術報告を新しい理論・解釈を加えて総合的に見直し学術展開した総合的論文とする。学術的価値と明解さ(文法や用語の正しさを含む)等の観点で、2名以上の審査員による本規定の3項に基づいた審査(ピア・レビュー)を経る。

原稿は、著者が自主投稿するものと、編集委員会の依頼で投稿するもののいずれも受け付ける。

## 3 投稿論文の審査

(1)一般論文と総合論文についてはすべてピア・レビューする。総説については、編集委員長がピア・レビューの要不要を判断する。不要と判断した場合にも、編集委員1名による閲読を行う。閲読は論旨や表現の明確さについて行う。審査された論文の採否は審査員の意見にもとづいて編集委員長が決定する。ただし、編集委員長は編集委員会に意見を求めることができる。

(2)編集委員会は、審査あるいは閲読の結果にもとづいて、著者に論文内容の訂正を求める場合がある。訂正を求められた原稿が返送日より2ヶ月以内に再提出されない場合は、原則として、投稿を取り下げたものと見なす。

(3)ピア・レビューを経て論文が掲載される際には、論文の受理日とともに、最終修正原稿が採用決定(アクセプト)された期日を論文内に以下の例のように明示する。

例: Received January 1, 2021; Accepted after Peer-Review March 31, 2021

編集委員による閲読と修正を経て掲載される場合には、下記のように記す。

例: Received January 1, 2021; Accepted March 31, 2021

審査や閲読の結果、無修正あるいは軽微な修正の場合あるいは審査を要しない種類の原稿の場合には、Accepted以下を記さない。

(4)総説や総合論文で引用する図表や本文については、著者が原著論文の著作権の所有者に掲載の許諾を得るものとし、審査の際にその根拠を示すこととする。

## 4 投稿原稿の提出

(1)著者は、本規定およびホームページに掲載したテンプレートにしたがって原稿を作成しなければならない。これらに著しく相

違する原稿は受理しない場合がある。学会の財政的な制約と公平な投稿機会のために、投稿論文の頁数は最大 8 頁前後とする。

(2) 原稿は、Word ファイルと pdf ファイルの両方の形式で電子メールに添付して投稿する。原稿の送付先は本会「編集委員長」宛とし、到着日をその論文の受理日とする。

(3) 論文を含めたすべての原稿は、和文、英文のいずれで書いても受け付けるが、本文が和文であっても、英文タイトルと英語の著者情報を記載する。学術記事(論文や解説など)の場合は、英文要旨も記載する。

## 5 印刷用原稿の提出

(1) 採択になった論文は、必要に応じて編集委員長が最終印刷用フォーマットに整えることを著者に求める。その場合、著者は指定の期日までに、Word ファイルとpdfに変換したファイルを提出しなければならない。原則として、pdf のまま、ヘッダ、フッタを記入し掲載される。

(2) J-stage での引用文献のリンクの利便性と正確さを図るため、著者は、引用文献の DOI 番号のリストを添付する。

(3) 編集委員会は最終原稿を点検し、必要に応じて編集委員が編集上の修正を行なう。修正が文言、仮名使い、配置などの修正を伴う場合は、印刷前に著者に確認を求める。返答を求められた著者は、原則として 48 時間以内に回答するものとする。

(4) 冊子体はモノクロで印刷され、カラーでの印刷は受け付けない。電子版では pdf でのカラーがそのまま公開される。

## 6 著者校正

原則として行なわない。

## 7 掲載後の内容訂正

編集委員会が認めた場合には訂正記事を掲載することができる。

## 8 掲載料、別刷

掲載料は徴収しない。最終原稿確定時までに部数を指定して希望すれば、別刷りを購入することができる。価額は添付の表による。部数は 25 の倍数に限る。

## 9 著作権

掲載された論文の著作権は、日本ポーラログラフ学会に属するものとする。また、著者全員は、投稿の時点で、掲載論文が pdf ファイルとして J-stage にアップロードされ、Web 上で公開されることに同意したものとする。

## 付則

1. 本誌は、投稿論文以外に、以下の原稿投稿を、自主投稿か依頼投稿かを問わず受け付ける。数字は標準頁数を示す。これらの原稿については、審査を行わないが、閲読と最終原稿の確定は編集委員会が行う。また、本規定の 5~9 項の事項を適用する。

巻頭言 (Preface) 1 or 2

コンセプト (Concepts) 4

講座:ポイント解説 (Tutorial) 6

談話室 (Polarography Lounge) 4

基礎技術 (Technical Report) 4

書評 (Book) 2

学会報告 (Conference Report) 2

エッセイ (Essay) 2

電気分析化学ここが難しいシリーズ (Series) 1 or 2

インフォメーション (Information)

追悼記事 (Condolences) 2

その他、編集委員会が適当と認める記事

2. この規定は、Vol. 44, No. 1 (1998)に掲載のものを2008年(平成20年)4月28日に改

訂し、Vol. 54, No. 1 (2008)から適用する。

2009年(平成21年)4月1日改訂、Vol. 55,  
No. 1 (2009)から適用

2011年(平成23年)11月30日改訂、Vol.  
58, No. 1 (2012)から適用

2021年(令和3年)11月12日改訂、Vol. 68,  
No. 1 (2022)から適用

以上

## 別刷料金表

頁	25部	50部	75部	100部	125部	150部
1-2	3,000円	3,000円	3,500円	4,500円	5,500円	6,500円
3-4	3,000円	4,500円	6,500円	8,500円	10,500円	12,500円
5-6	3,500円	6,500円	9,500円	12,500円	15,500円	18,500円
7-8	4,500円	8,500円	12,500円	16,500円	20,500円	24,500円
9-10	5,500円	10,500円	15,500円	20,500円	25,500円	30,500円
11-12	6,500円	12,500円	18,500円	24,500円	30,500円	36,500円
13-14	7,500円	14,500円	21,500円	28,500円	35,500円	42,500円
15-16	8,500円	16,500円	24,500円	32,500円	40,500円	48,500円
17-18	9,500円	18,500円	27,500円	36,500円	45,500円	54,500円
19-20	10,500円	20,500円	30,500円	40,500円	50,500円	60,500円
21-22	11,500円	22,500円	33,500円	44,500円	55,500円	66,500円
23-24	12,500円	24,500円	36,500円	48,500円	60,500円	72,500円
25-26	13,500円	26,500円	39,500円	52,500円	65,500円	78,500円
27-28	14,500円	28,500円	42,500円	56,500円	70,500円	84,500円
29-30	15,500円	30,500円	45,500円	60,500円	75,500円	90,500円